



総代会について

総代会について

信用金庫は、地域の中小企業・住民の皆さまが会員となり、会員同士が互いに助け合い、ともに発展することを基本理念とする「協同組織金融機関」です。そのため、すべての会員が、出資口数に関わらず「1人1票」の平等な議決権をもって信用金庫の経営に参加することになります。

しかし、令和5年3月末の当金庫の会員数は約15万人と大変多く、すべての会員が一堂に会する「総会」を開催することは、事実上不可能です。そこで当金庫では、会員から選出された代表者（総代）による「総代会」をもって総会に代え、決算や理事・監事の選任など経営の重要事項を決議する最高意思決定機関としています。

なお、日頃の事業活動を通じて、総代・会員の皆さまとのコミュニケーションを深め、会員の皆さまのご意見をより多く経営に採り入れることができますよう努めております。また、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お取引店までお寄せください。

総代とその選任方法

- **総代の任期** 3年
- **総代定数** 令和4年3月改選期 140名
- **現総代数** 136名（令和5年6月27日現在）
- **総代候補者選考基準**

資格要件 当金庫の会員であること。

適格要件

- ・ 地域における信望が厚く、総代としてふさわしい見識を有している方。
- ・ 良識をもって正しい判断ができる方。
- ・ 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方。
- ・ その他、総代選考委員が適当と認めた方。

● 総代が選任されるまでの手続き

金庫の営業地区を9区の選任区域に分け、選任区域ごとに、その区域の会員数に応じて総代の定数を定める

1. 総代候補者選考委員の選任

総代会の決議により、選任区域ごとに会員のうちから選考委員を委嘱

選考委員の氏名を店頭で1週間以上掲示

2. 総代候補者の選考

選考委員会を開催のうえ、選考委員が総代候補者を選考

理事長に報告

総代候補者の氏名を店頭で1週間以上掲示

掲示した旨を公告

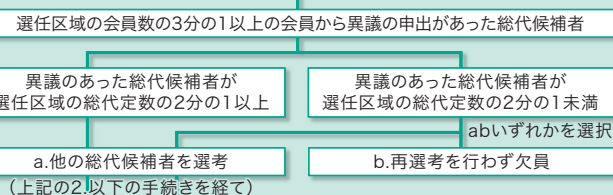
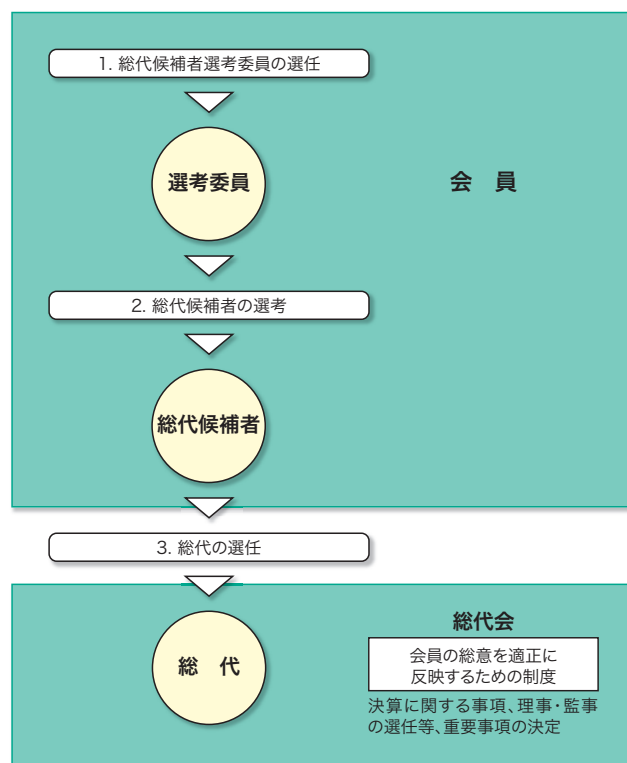
異議申出期間：公告後2週間以内

3. 総代の選任

会員から異議がない場合または選任区域の会員数の3分の1未満の会員から異議の申出があった総代候補者

● 選任方法

総代は、会員の代表として会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そのため、総代の選考は信用金庫法および定款などに則り、厳正に行われています。



第 102 期通常総代会の決議事項

令和 5 年 6 月 27 日に開催された第 102 期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案の通り了承されました。

● 報告事項

第 102 期（自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

● 決議事項

- | | |
|---------|-------------------|
| 第 1 号議案 | 第 102 期剰余金処分案承認の件 |
| 第 2 号議案 | 優先出資の買入消却の件 |
| 第 3 号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第 4 号議案 | 会員の法定脱退の件 |
| 第 5 号議案 | 総代候補者選考委員選任の件 |
| 第 6 号議案 | 理事任満了に伴う改選の件 |
| 第 7 号議案 | 監事任満了に伴う改選の件 |

総代氏名等（令和 5 年 6 月 27 日現在）

選任区域／定数（現総代数）	総代氏名（敬称略 丸数字は就任回数）							
第 1 地区 24 (23) 東京都荒川区	青木秀一①	伊澤英敏⑦	石塚康之⑦	稲吉和俊②	井上有子②	織田善信②	笠島伸介⑦	
	北浦秀明④	工藤健吾①	小林幸雄⑦	鈴木 哲⑦	関口 勇②	先崎和延①	田中幸治②	
	寺 紘一⑦	長谷川 茂⑦	長谷川英之①	長谷部忠彦①	松本繁夫②	宮部明美③	山口利昭②	
	吉井昭一⑦	渡邊真人⑤						
第 2 地区 20 (20) 東京都北区	安部元彦④	石井定雄⑦	石渡勝利⑦	大野二郎⑥	小澤 徳④	栗橋孝之②	五箇一善⑦	
	越野充博⑦	齋藤邦彦⑦	佐藤行雄⑦	住 幸夫⑦	田口浩一郎④	田中義正⑦	富田昌裕②	
	葉山相也⑦	福田正宏⑦	増野 繁④	三平喜久一④	山口 英②	山本哲也④		
第 3 地区 14 (13) 東京都足立区	江川 勇④	木本高一朗⑦	清水賢一郎①	関口和男⑦	田口文夫⑦	中馬義治⑤	都築 基⑦	
	馬場重雄⑦	寶谷鉄明⑦	益子 勝⑦	三田哲司①	山口徳吉②	渡邊明彦③		
第 4 地区 15 (15) 東京都葛飾区他	阿部璋五⑦	石川孝之①	菊地英晴⑦	高石晃嗣①	田中伸一①	積田喜一⑦	寺澤義雄⑦	
	奈良橋 榮⑦	福本俊一⑦	藤田博子①	松居孝義③	宮下仁志③	武藤虎之介④	森本義彦⑦	
	山田 照②							
第 5 地区 18 (18) 東京都台東区他	安達豊基⑥	足立嘉章②	有田信行①	石井意宏④	大坂晃一①	大橋幸雄⑦	鯉渕友南③	
	小能大介①	関 一夫①	對間新吉⑦	竹内渥躬⑦	田辺幸一②	玉澤靖司⑦	藤田利久⑦	
	松本康男⑦	間根山好洋②	山田 豊①	吉川太一郎⑤				
第 6 地区 11 (10) 東京都板橋区他	市ヶ谷弘司①	沖 哲也①	菊池俊一①	篠 昌美①	篠 連一郎④	関根朋之②	仲村誠一②	
	七海公治②	長谷川 実⑦	廣澤光博②					
第 7 地区 17 (16) 埼玉県川口市他	青羽英次②	浅井喜久男②	安藤正経④	飯田房義⑦	石井隆義④	井田千仁⑦	内田勝雄⑦	
	小野枋男⑦	黒川耕次⑦	佐藤民昭⑦	富澤進一②	中村匡秀①	廣瀬 進⑦	古鎌昭博①	
	星野耕一①	谷古宇 孝①						
第 8 地区 11 (11) 埼玉県越谷市他	青木 功②	石井英幸③	奥澤公明①	小島伊紀⑦	齋藤詔治⑦	佐藤國美⑦	鈴木 豊②	
	中澤広樹④	三浦敏明⑦	村井有一郎③	湯田啓一⑦				
第 9 地区 10 (10) 埼玉県さいたま市他 (旧岩槻市は第 8 地区)	大久保 平②	大室 寛⑦	大谷義武①	梶本一郎⑦	木下 忍②	日下部雅人③	鹿 榮一郎⑦	
	高石 正②	積田鉄也④	野崎明弘⑦					
合 計 140 (136)	（総代の属性別構成比） 職業別：法人役員 93.3%、個人事業主 5.1%、個人 1.4% 年代別：80 代以上 23.5%、70 代 27.2%、60 代 17.6%、50 代 29.4%、40 代 2.2% 業種別：製造業 26.8%、不動産業 23.8%、卸売業・小売業 18.6%、建設業 13.4%、 運輸業・郵便業 4.4%、その他 12.6% （注）業種別の構成比は法人役員・個人事業主に限る。							